

# 平成28年度事業報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

## I 主要な会議

### (1) 理事会

開催日	議案等	備考
平成28年4月1日	常務理事の選任の件	書面
平成28年5月17日	① 平成27年度事業報告及び決算(案)の件 ② 定時評議員会の開催の件 〈報告事項〉 平成27年度資金運用の経過の件	
平成28年6月20日	① 理事長の選任の件 ② 常務理事の選任の件 ③ 顧問の選任の件	臨時
平成28年10月24日	〈報告事項〉 ① 平成28年度事業報告(上半期)の件 ② 平成28年度資金運用の経過の件	
平成29年2月3日	① 平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案)の件 ② 平成29年度資金運用の執行方針及び計画(案)の件 ③ 評議員会の開催の件	

### (2) 評議員会

開催日	議案等	備考
平成28年4月1日	理事の選任, 評議員の選任の件	書面
平成28年6月20日	① 平成27年度事業報告及び決算について承認を求める件 ② 役員(理事及び監事)の選任の件 ③ 評議員の選任の件 ④ 定款の変更の件 〈報告事項〉 平成27年度資金運用の経過の件	
平成29年2月10日	〈報告事項〉 ① 平成29年度事業計画及び収支予算報告の件 ② 平成29年度資金運用の執行方針及び計画報告の件	

## II 事業報告

### 【公益目的事業会計】

#### 1 屋久島環境文化村構想推進事業

##### (1) 環境学習

###### ① 自主事業

ア 「自然・文化体験セミナー」

広く全国から参加者を募り，自然を体験したり環境文化を学ぶため，屋久島のフィールドを活用した自然観察や島内外の方々との交流等を行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	延 べ 参加者
まるごと屋久島研修講座(里)	島内解説 (湯泊栗生方面、大川の滝等)	4月17日	22人
まるごと屋久島研修講座(森)	屋久島の自然散策 (ヤクスギランド解説)	4月23日	15人
初めてのアウトドア島旅	前岳トレッキング・自転車ポイントラリー	5月2日～4日	60人
夏を感じるエコツアー	(荒天中止)	(7月16日)	—
子ども屋久島大冒険!	蛇之口滝トレッキング・安房川イカダ下り	8月6日～9日	79人
屋久島満喫アクティブツアー	前岳トレッキング・イカダ下り・ボルダリング	9月23日～25日	15人
秋風を感じるエコツアー	里山散策サイクリング・野外炊飯	11月5日	11人
環境未来ミーティング	屋久島の未来を語る集い	12月10日	25人
ヤクスギランド線植物観察	ヤクスギランド線の植物観察会	1月9日	6人
冬の海を楽しもう	ビーチコーミングとランプシェード作り	2月4日	20人
ヤクシマニアックツアー	町の隠れた名所文化材めぐり	2月12日	29人
はじめての鳥見会	冬のバードウォッチング初級編	2月25日	17人
計	11回 (実施)		299人

イ 「ふるさとセミナー」

島内の方々を対象に、屋久島の身近な自然を素材にしてふるさとの新たな一面を発見し、自然のすばらしさを学ぶための体験型研修を行った。

名 称	実 施 内 容	実施時期	延べ参加者
<研修センターオープンデー> 親子で楽しめる科学実験等の実施	シロアリ実験 木工クラフト・スライム作り タンカンハンドクリーム作り	6月26日	332人
<冒険しよう> 町内小学生を対象に、自然体験型環境学習の実施	漁師・魚のさばき方体験 小杉谷探検	12月3日 ～4日	34人
<星空観察会> 星座や宇宙への関心を高めるため町内小学校で星空観察を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春の星空観察会（栗生小学校）</li> <li>・秋の星空観察会（小瀬田小学校）</li> <li>・冬の星空観察会（神山小学校）</li> </ul>	4月15日  2月3日  2月17日	72人  87人  51人
-----		3回（実施）	210人
<出張研修講座> 町内の学校の要請を受け、屋久島の環境学習を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日遠足の事前指導（岳南中学校）</li> <li>・職員研修（E S D教育）（安房中）</li> </ul>	6月23日  9月26日	90人  12人
-----		2回（実施）	102人
<子どもエコ隊活動事業> 屋久島の小学校4～6年生を対象に体験的な環境学習を通して、自然環境に対する意識の向上を図り屋久島の未来を担う人材の育成を図った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テント泊，ナイトハイク 野外炊飯，ヨモギうどん流し</li> <li>・タイドプール観察，タペストリー作り</li> <li>・岳参り，竹筒炊飯</li> <li>・里めぐりとつのまき作り</li> </ul>	6月4日 ～5日  7月18日  11月19日 ～20日  1月29日	38人  17人  20人  15人
-----		4回（実施）	90人
<幼児環境教育推進事業> 島内未就学児とその親を対象に野外体験活動を実施し、幼少時代から環境意識を向上させる。	<屋久島こども森の遊び場> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の森deおさんぽの会</li> <li>・はじめての親子CAMP</li> <li>・焚き火deほっこりごはんの会</li> <li>・冬の森de焼き芋の会</li> <li>・親子deチャレンジキャンプ</li> </ul>	11月12日 12月17日 ～18日 1月14日 2月18日 3月4日 ～5日	25人  80人  39人  47人  68人
-----		5回（実施）	259人

ウ 「自然に親しむ集い」

環境省，屋久島町と共催で，屋久島の身近な自然のすばらしさを学ぶため，島内在住者を対象に自然観察活動や自然体験活動を行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	参加者
第1回自然に親しむ集い	アサギマダラマーキング会	5月7日	17人
第2回自然に親しむ集い	特定外来生物駆除作業	5月15日	中止
第3回自然に親しむ集い	小杉谷トレッキング	11月28日	20人
計	2回（実施）		37人

エ 「インターンシップ」

岐阜大学，関西学院大学の学生2名に研修センターで職場体験（8月，2週間）を実施し，インストラクターとして必要なスキルを学ばせた。

② 受入事業

財団が作成した学習プログラムを活用して宿泊研修，一日研修，短時間研修を行うグループの受入れを行った。

区 分	団 体 数	延べ参加者
宿 泊 研 修	56団体	3,971人
一 日 研 修	43団体	971人
短 時 間 研 修	8団体	325人
計	107団体	5,267人

③ 屋久島高校環境学習・交流支援

自然の中で行われる学習活動（屋久島での里エコ体験，屋久島地質巡検，植物相・生態，民族文化等）を通じて，屋久島の自然環境への理解を深め，人と自然の関わりを考えることを目的に，屋久島高等学校環境コースの学生の宿泊研修に対し支援を行った。

名 称	実 施 時 期	参 加 者
夏季研修	7月12日～13日	12人
（口永良部島研修）	8月7日～9日	18人
秋季研修	10月18日～19日	12人
冬季研修	1月24日～25日	12人
計	4回（実施）	54人

（再掲）

#### ④ 屋久島研究講座

屋久島についての理解を深めてもらうため、屋久島について調査研究した内容を講義形式で発表する屋久島研究講座を実施した。

回	講演日	演題	講師	場所	参加者
1	4月26日	公開鼎談「養老孟司 屋久島を語る」	養老孟司 中村耕治 小野寺浩	村センター	265人
2	5月27日	「ウィルソンの写真が語る人と自然」	作家 古居智子 他	村センター	50人
3	8月29日	「屋久島のコケの魅力とその展開」	広島大学教授 山口富美男 他	屋久島町総合センター	140人
4	11月26日	「ヤクスギの歴史 島の暮らし」	鎌田道隆	屋久島町総合センター	110人
5	11月27日	「屋久島の森と夢の150年-小杉谷」	王智弘	屋久島町総合センター	120人
6	11月27日	「屋久島低地照葉林の多様性とその保全」	手塚賢至	屋久島町総合センター	
7	2月15日	屋久島における森林と生物多様性の最近の話題	樋口浩 山下義治	村センター	68人
計		7回（実施）			753人

## (2) 環境形成

### ① 環境保全活動支援事業

#### ア 「山岳部利用対策事業」

山岳部の荒廃を防ぐため、縄文杉周辺等での登山者指導やマナーガイドの作成・配布など啓発活動を実施した。

また、山岳部トイレのし尿処理問題に関し携帯トイレの利用促進を図るとともに、山岳部保全募金への協力・広報活動を行い、山岳部の環境保全に寄与した。

なお、平成29年3月1日以降は、山岳部保全募金が山岳部環境保全協力金へ移行し、文化村センター受付窓口において協力金の収納業務を開始するとともに、淀川・荒川登山口で協力金を収納する業務員のPR用スタッフジャンパー及び帽子を作成し、協力金のPRを図った。

#### イ 「エコツーリズム支援事業」

屋久島町エコツーリズム推進協議会に参加し、協議会が認定する屋久島ガイドに対して、研修の機会や情報提供を通して資質の高いガイドの育成を図った。

#### ウ 「生物多様性保全研究活動奨励事業」

環境保全の意識向上のための啓発活動等に取り組んでいる団体に対する支援や、屋久島の生物や環境保全をテーマに調査・研究する研究者に対し、助成を行った。

団 体 名	事 業 内 容
鹿児島大学農学研究科 森林政策学研究室 新井愛那	屋久島山岳部における観光利用の在り方
佐賀大学農学部 准教授 辻田有紀	シカに食い尽くされる前に照葉樹林のランを守れ
中京大学国際教養学部 松原幹	屋久島における動物の果実食と種子の二次散布の 関係調査
鹿児島大学大学院理工学研究科地球環境 科学専攻植物生態学研究室 川原大基	屋久島の海岸植生の動態の研究
広島大学大学院生物圏科学研究科 水圏資源生物学研究室 木村祐基	くちえらぶの魚類図鑑
鹿児島国際大学国際文化学部 生物学研究室 船越公威	口永良部島に生息するエラブオオコウモリの保全 研究
大阪市自然史博物館 長谷川匡弘	屋久島高地における開花植物－訪花昆虫ネットワ ークの解明
京都大学大学院農学研究科地球環境科学 専攻森林生態学分野 向井真那	屋久島森林生態系を規定する火山灰の影響調査
計	8 団体

エ 「ガイドセミナー受託事業」

エコツアーガイドの育成，資質向上を図るため，ガイドセミナーを行う。

区 分	実 施 時 期	延べ参加者
赤十字救急法講習会	1月11日～13日	45人
ガイドセミナー	2月13日～14日	31人

オ 「うみがめ保護対策事業」

<うみがめ保護遮光林維持管理>

うみがめの産卵環境を保護するため，遮光林の維持管理（手入れ・除草）を行った。

実 施 期 間	委 託 先	実 施 場 所
5月26日 ～ 1月31日	NPO法人屋久島うみがめ館	永田(いなか浜)， 一湊(一ツ浜，二ツ浜)

<海岸清掃>

「世界環境デーinいなか浜」に併せ，財団ボランティア及び職員がいなか浜の海岸清掃を実施した。

実 施 日	主 催 団 体	実 施 場 所	参 加 者
6月4日	NPO法人屋久島うみがめ館	いなか浜	133人

＜マリンワーカー事業＞

環境省から委託を受け、タイドプールや枕状溶岩など特徴的な磯及びうみがめが産卵する砂浜等の海岸景観を保持するため、海岸清掃を実施する。

実施場所	実施団体	実施時期
田代海岸	永久保区	12月4日／1月29日
塚崎海岸	栗生区	12月17日／1月28日
二ツ浜	一湊区	12月18日／1月22日
永田浜	永田区	12月25日／1月22日

② 屋久島動植物調査等事業

屋久島の動植物等の調査結果を、環境学習や自然観察用の資料として活用できるようにするため各種ガイドブックを作成することとしており、今年度は、来年度の「屋久島のコケガイド」の改訂に向け作業中である。

**(3) ネットワーク形成**

① ボランティアネットワークの形成

ア 屋久島の環境保全活動等に協力していただける人々を環境文化ボランティアとして登録を行った。（ボランティア登録者数 27人(平成28年度末現在)）

また、ボランティアの参加を得て、次の活動を行った。

〈ボランティアの活動状況〉

開催日	活動内容
6月4日	世界環境デーinいなか浜
6月26日	研修センターオープンデー
7月24日	村セン祭り（自然工作・粘土キャンドル作り）
9月10日	白谷雲水峡歩道・手摺清掃 (伊藤園ボランティアと共同参加)

イ 企業ボランティアの活動

開催日	活動内容	参加者	備考
9月10日	・白谷雲水峡歩道・手摺清掃	15人	(株)伊藤園(7人), 財団ボランティア(8人)
	・春田浜海岸清掃	7人	(株)伊藤園(7人)

ウ 屋久島環境ボランティア活動支援事業

屋久島環境文化村構想に基づく自然と共生する地域づくりを推進するために、屋久島内に在するボランティア団体、グループ等が行う活動に対し、必要な経費の一部の支援を行った。

団体名	事業内容
屋久島国立公園パークボランティアの会	国立公園内の美化清掃動植物の保護など

## ② 屋久島ファンクラブの運営・加入促進

屋久島ファンクラブの加入促進や認知度向上のために、島内の関係機関（学校、屋久島事務所、他事業所）などで勧誘活動を行い、入会を図った。

また、11月にはイオンモール鹿児島においてPR活動を行った。

なお、2月にはファンクラブミーティングを鹿児島市のかごしま県民交流センターで開催し、屋久島のトピックスや里めぐりの説明等交流を行った、

ファンクラブ会員数	853人
28年度新規加入者数	159人

[参考：平成28年3月末会員数：811人]

## ③ 財団情報の発信誌発行

ア 財団会報「屋久島通信」（A4版、8ページ）の発行（3,000部／号）

全国の屋久島ファンクラブ会員及び関係機関に対して、屋久島の情報を提供した。

号数	発行時期	内容
第63号	平成28年7月	「口永良部島の自然」／屋久島の里めぐり
第64号	平成28年11月	「シカはサルの近くで何をしているの」
第65号	平成29年3月	「屋久島山岳部環境保全協力金について」

イ 財団機関紙「まるりん通信」の発行（6,500部／月）

毎月1回島内の全戸に配布し、財団の活動状況を紹介するとともに、中核施設への来館、イベントへの参加を呼びかける情報発信を行った。

## ④ 研究者ネットワークの形成

屋久島島民や来島した研究者等への情報提供を行うとともに、研究者等による調査・研究内容を島民に紹介する場（屋久島研究講座等）を設け、地元への還元を図った。

## (4) 屋久島地域づくり支援

### ① 里のエコツアー推進事業

広く全国から参加者を募り、自然環境に負荷を与えない屋久島の里地の暮らしや伝統文化等について体験できるエコツアーを、7月に口永良部島で実施予定であったが、現在、復興に向けてインフラの整備中であることから、実施について屋久島町と協議した結果、今後改めて検討することとした。

名称	実施内容	実施時期	延べ参加者
のんびりゆったり里のエコツアー（口永良部島）	（口永良部島の現状を考慮し、実施については今後検討）	来年度予定	—

## <参考：屋久島里めぐり推進協議会実施分>

- 主 体：「屋久島里めぐり推進協議会」（屋久島町，財団，参加集落）
- 目 的：屋久島の山岳部へ集中する観光のあり方を見直し，屋久島の里地へ観光の幅を広げ，新たな観光と地域振興の仕組みづくりを進める。
- 参加集落：永田，吉田，一湊，宮之浦，春牧，平内，中間，（7集落）

○ 実績：参加者数

（単位：人，（ ）は受入回数）

	吉 田	宮之浦	春 牧	平 内	中 間	永 田	一 湊	計	備 考
24年度	57 (5)	53 (4)	25 (3)	23 (2)	16 (2)			174 (16)	ホームページ開設
25年度	10 (5)	62(10)	147(18)	31 (4)	32 (4)	—	—	282 (41)	
26年度	80(19)	166(47)	101(24)	36 (4)	62 (7)	—	—	445(101)	
27年度	99(19)	200(45)	194(38)	11 (1)	35 (9)	67(17)	71 (9)	677(138)	永田，一湊集落 が加入
28年度	84(19)	185(44)	115(25)	16 (5)	72(17)	92(25)	60 (15)	624(150)	
計	330(67)	666(150)	582(108)	117(16)	217(39)	159(42)	131(24)	2,202(446)	

### ② 屋久島の里の持続可能な利用形態構築助成事業

愛・地球博成果継承発展助成事業（一般社団法人 地球産業文化研究所）を活用し，自然・文化・歴史などの地域資源や伝統文化を保全し，地域資源の持続的な活用をすることにより，環境に配慮した新しい社会行動のシステムを構築するため，各種事業を行った。

- ・屋久島各集落の伝統文化記録・魅力調査（3集落）
- ・語り部研修（島外研修2回：奄美大島・隠岐市）
- ・奄美，屋久島のまち歩きに関する意見交換会
- ・語り部研修（島内研修，インタープリテーション講習会）
- ・旧跡・名所説明看板作成（3集落×3基）
- ・「里めぐり」リーフレット（A3版二つ折り，A4版三つ折り）の増版
- ・「里めぐり」モニターツアーの実施（48回実施 延べ245名参加）
- ・里めぐり集落イラストマップ作成
- ・情報誌等での「里めぐり」の発信

### ③ 屋久島新特産品開発プロジェクト事業

ア 里めぐり推進協議会参加集落で食事の提供を実施，または計画をしている集落を対象に，専門家を招聘しての食事提供に関する意見交換会を実施した。

実施日：9月17日 場所：一湊区 参加集落：永田・吉田・一湊・中間

11月10日 場所：永田区 参加集落：永田・吉田・一湊・中間

3月15日 場所：尾之間保健センター 参加集落：永田・吉田・一湊

イ 屋久島里めぐりにおける食の提供に必要な備品の支援を行った。

支援先：吉田区 一湊区

#### ④ 環境文化芸術・スポーツ活動等支援事業

伝統文化の保存活動やスポーツ活動を行っている団体や地域づくりを支援するためにイベントや地域活動に対し、支援を行った。

実施主体	事業の名称	実施期間
NPO法人屋久島エコフェスタ 代表 古居智子	屋久島町有文化財 『楠川区有文書』保全プロジェクト	平成28年6月1日～ 12月25日
口永良部島子供会育成会 代表 貴船恭子	防災リーフレット(子ども達を作る未来の口永良部島の子ども達へ伝える防災のためのヒント)の製作	平成28年6月1日～ 10月11日
島の音楽会 実行委員会 事務局 赤松達哉	子どもの感性を育む, 島の音楽を探る演奏会事業	平成28年6月1日～
Yakushima Photography Festival 代表 千々岩孝道	Yakushima Photography Festival	平成28年6月1日～
屋久島ご神山祭り実行委員会	第34回屋久島ご神山祭り	平成28年8月6日～ 7日
屋久島選抜チーム後援会	全国離島交流中学生野球大会 屋久島選抜チーム支援事業	平成28年8月21日 ～27日
屋久島夢祭り実行委員会	屋久島夢祭り	平成28年11月5日
サイクリング屋久島大会	2017サイクリング屋久島大会	平成29年2月19日
計	8団体	

#### (5) 国際交流

##### ① 日新交流支援事業 (23年度～, 6回目)

屋久島町が「縄文杉」とニュージーランドの「タネマフタ」との姉妹木盟約締結を契機とした島内中学・高校生の派遣事業に際し、渡航に必要な経費の一部の支援を行った。  
(平成28年度実績: 7月29日～8月17日, 中学生4名, 高校生2名)

##### ② 留学生ホームステイ受入事業 (24年度～, 5回目)

鹿児島大学に留学中の外国人(17名)が屋久島でのホームステイを通して文化や暮らしを体験しながら, 島民と異文化交流を図った。  
(平成28年度実績: 8月29日～8月31日)

## 2 中核施設管理運営事業

### (1) 中核施設管理運営

屋久島環境文化村中核施設である環境文化村センター及び環境文化研修センターの管理運営業務を県から受諾し（指定管理者）、その適切な管理を行うとともに、経費節減による効率的な運営及び施設設備の補修等の維持管理に努めた。

また、両施設の紹介と利用促進を図るため、施設の情報等を掲載した広報パンフレットを作成した他、各種利用促進施策を実施した。

#### ① 環境文化村センター管理運営

<利用促進>

- ・新たにポスターを作成し、鹿児島港南埠頭や高速船ターミナル、宮之浦港、安房港、町内宿泊施設等に配付、掲示した。
- ・島内宿泊施設等へのリーフレットの配付、宿泊者への割引制度の実施や定期的に宮之浦港の高速船及びフェリー乗り場で到着時に誘客活動を行った。
- ・県外航空路線のある福岡や大阪のエージェント訪問を実施し、誘客を図った。
- ・外国人の利用サービス向上のため、センター内の案内表示板を英語の他、中国語（繁体・簡体）、韓国語（ハングル）を追加表示した。

#### ア 開館20周年記念事業

<村センター>

内 容	開 催 日	延べ参加者
島民感謝デー（無料観覧）	7月11日～31日	211人
自然工作・粘土キャンドル作り	7月24日	200人
映画会Ⅰ「ミッション・インポッシブル」（1回上映）	7月23日	111人
映画会Ⅱ「ベイマックス」（2回上映）	7月24日	365人
計	4回	887人

#### イ 交流ホール展示

内 容	開 催 日	備 考
屋久島・ヒマラヤ山岳写真展	3月20日～5月10日	
写真展「ウィルソンの見た鹿児島島の自然」	5月20日～6月30日	
文化村センター20周年の歴史展	7月23日～8月3日	特別企画展
屋久島和紙研究会の展覧会	8月5日～8月13日	
まるりんの“相棒”展	3月25日～5月30日	
計	5回	

#### ウ 屋久島環境文化村センターの状況

【入館者数】

（単位：人）

区 分	26年度	27年度	28年度	
				対前年度比
入 館 者 数	62,648	75,026	84,121	112.1%
うち有料観覧者数	25,743	22,650	22,294	98.4%

【その他施設の利用状況】

施設名	26年度	27年度	28年度
	利用回数(延べ日数)	利用回数(延べ日数)	利用回数(延べ日数)
レクチャー室	43回(45日)	46回(55日)	26回(29日)
交流ホール	4回(81日)	7回(179日)	1回(11日)
大型映像ホール	1回(1日)	3回(3日)	2回(2日)

② 環境文化研修センター管理運営

<利用促進>

- ・研修センター利用促進対策として県外では山口県、島根県のスーパーサイエンスハイスクール (SSH) や環境科設置校等を、また県内では高速船利用の便のよい指宿市内の学校を訪問し、研修センターの環境学習プログラムを紹介して施設利用率の向上を図った。
- ・また、冬季対策として島内の未就学児の親子を対象とした一日研修・宿泊研修や町民向けの一泊型セミナーなどを行った。

ア 開館20周年記念事業

〈研修センター〉 (再掲)

内 容	開 催 日	延べ参加者
シロアリ実験・木工クラフト・スライム作り・タンカンクリーム作り	6月26日	332人

イ 屋久島環境文化研修センターの状況

【利用者数】

(単位：人)

区 分	26年度	27年度	28年度	
				対前年度比
利用者数	6,049	7,349	7,009	95.4%

【その他施設の利用状況】

施設名	26年度	27年度	28年度
	利用回数(延べ日数)	利用回数(延べ日数)	利用回数(延べ日数)
視聴覚室	2回(2日間)	3回(3日間)	2回(2日間)
レクチャー室	0回(0日間)	0回(0日間)	4回(4日間)

③ 中核施設ホームページ管理運用と情報発信

ウェブサイトの適正な管理運用を行うとともに、フェイスブックを活用して日々新しい屋久島や財団の情報発信に努めた。

また、ホームページ上で、屋久島ファンクラブの加入・更新や財団グッズ等の販売、寄付金の申込等を行えるシステムの運用を開始した。(平成28年4月4日)

## **(2) 中核施設開館20周年記念事業**

屋久島環境文化村中核施設が開館して、平成28年度に20周年を迎えたことから、これを記念して、20周年記念事業を開催し、地元屋久島町民に感謝の意を示すとともに、島内外に財団の情報発信を行った。

日時：平成28年4月26日（火） 18:00～20:00

### <第一部>

- 開館20周年の歩み（映像で紹介）
- 「屋久島CO2フリーの島づくり」の取組（県地球温暖化対策課）

### <第二部>

- 公開鼎談「養老孟司 屋久島を語る」
  - ・キャスト：養老孟司氏（東京大学名誉教授），中村耕治氏（MBC社長），小野寺浩氏（財団理事長）
  - ・来場者：265名

## **【収益事業会計】**

### **書籍物品等販売事業**

財団の収益を確保し、公益目的事業を推進するため、各種屋久島環境文化財団オリジナルグッズ（カレンダー、てぬぐい、携帯ストラップ、ボールペン、屋久島WAONカード、クオカード等）や屋久島関連書籍等の販売を行った。

## **【法人会計】**

### **管理費**

#### **1 本部管理費**

- (1) 理事会・評議員会
  - ・理事会（4回）、評議員会（2回）を開催し、各会において財団の諸課題等について協議した。
- (2) 管理運営
  - ・財団の効率的な管理運営に努めるとともに、収入増を図るため、寄付金募集チラシの配付や、賛助企業の拡大に向けて、出郷者の多い近畿、名古屋（中部）、関東、福岡の各地区での企業訪問等を行った。
  - ・出郷者会（中部屋久島会：4月10日、近畿屋久島会：11月20日、関東屋久島会：11月27日）において財団活動報告等を行った。

#### **2 職員スキルアップ事業**

研修課インストラクターをインタープリターズキャンプ、各種セミナー、講習会等に派遣させた他、専門書の購入を行い、インストラクターとしてのスキルアップを図った。